

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月28日

上場会社名 株式会社京写 上場取引所 東
 コード番号 6837 URL http://www.kyosha.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 児嶋 一登
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 平岡 俊也 (TEL) 075-631-3193
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	7,885	0.2	326	△9.8	363	△12.6	284	0.0
25年3月期第2四半期	7,868	4.8	361	94.5	416	79.7	284	66.3

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 696百万円(133.8%) 25年3月期第2四半期 297百万円(142.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	19.83	—
25年3月期第2四半期	19.83	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	11,378	4,558	39.0
25年3月期	10,601	3,926	36.0

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 4,432百万円 25年3月期 3,816百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
26年3月期	—	0.00			
26年3月期(予想)			—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,500	10.1	750	35.5	750	13.5	530	67.5	36.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

26年3月期2Q	14,624,000株	25年3月期	14,624,000株
26年3月期2Q	291,132株	25年3月期	290,769株
26年3月期2Q	14,333,217株	25年3月期2Q	14,333,885株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測等に関する説明」をご覧ください。

2. 当社は平成25年12月4日に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、説明会開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(企業結合等関係)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の当社が属するプリント配線板業界の状況は、国内では経済金融政策の取り組みや円安の為替により緩やかな回復が続きましたが、中国・アジア等の新興国経済は堅調なものの成長率は低下しており先行きは不透明な状況が続きました。

このような状況の中、当社グループの業績は、国内は期初より需要の回復が続いたものの前年の第2四半期は自動車関連分野で減税・補助金等による特需があり好調であった反動から売上は前年同四半期を下回りました。一方、海外では家電製品や自動車関連の需要が回復し円安の為替も加わり堅調に推移しました。この結果、売上高は7,885百万円（前年同四半期比0.2%増16百万円の増収）となりました。製品別では、片面プリント配線板は、海外で家電製品や自動車関連分野が堅調に推移したことで前年同四半期を上回り4,410百万円（前年同四半期比9.7%増389百万円の増収）、両面プリント配線板は、国内の家電製品の低迷と自動車関連分野の需要が前年には届かず、2,395百万円（前年同四半期比14.3%減399百万円の減収）、その他の売上高は、搬送用治具の売上が堅調なことから1,079百万円（前年同四半期比2.5%増26百万円の増収）となりました。

利益面については、海外の製造設備の自動化推進による省人化や調達コストの削減効果により改善が進みましたが、国内のプリント配線板事業が低迷した結果、営業利益は326百万円（前年同四半期比9.8%減35百万円の減益）、経常利益は363百万円（前年同四半期比12.6%減52百万円の減益）、四半期純利益は投資有価証券の売却等により284百万円（前年同四半期比0.0%増0百万円の増益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、主に現金及び預金の減少157百万円、受取手形及び売掛金の増加554百万円、有形固定資産の増加314百万円等により、11,378百万円(前連結会計年度末比777百万円の増加)となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、支払手形及び買掛金の増加247百万円、短期借入金の増加338百万円、1年内返済予定の長期借入金の減少132百万円、長期借入金の減少263百万円等により、6,820百万円(前連結会計年度末比146百万円の増加)となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、主に為替換算調整勘定が399百万円増加したことにより、4,558百万円(前連結会計年度末比631百万円の増加)となりました。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前第2四半期連結累計期間より245百万円減少し、2,436百万円となりました。各活動別のキャッシュ・フローの状況とその要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加額は、199百万円(前年同四半期は901百万円の増加)となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益381百万円、減価償却費228百万円、売上債権の増加358百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少額は、305百万円(前年同四半期は171百万円の減少)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出326百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少額は、223百万円(前年同四半期は1,167百万円の減少)となりました。これは主に短期借入金の純増加260百万円、長期借入金の返済による支出407百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の業績につきましては、平成25年10月23日発表からの変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,802,799	2,645,556
受取手形及び売掛金	2,612,120	3,166,951
製品	365,488	305,885
仕掛品	281,789	314,106
原材料及び貯蔵品	653,832	677,102
繰延税金資産	86,837	88,141
その他	221,036	247,029
貸倒引当金	△15,748	△14,944
流動資産合計	7,008,155	7,429,830
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,910,556	3,099,185
減価償却累計額	△2,051,140	△2,189,205
建物及び構築物(純額)	859,416	909,980
機械装置及び運搬具	5,913,968	6,532,494
減価償却累計額	△4,544,952	△5,012,487
機械装置及び運搬具(純額)	1,369,015	1,520,006
土地	570,309	711,147
建設仮勘定	51,013	18,922
その他	877,450	939,651
減価償却累計額	△735,719	△794,073
その他(純額)	141,730	145,577
有形固定資産合計	2,991,484	3,305,634
無形固定資産	15,502	22,069
投資その他の資産		
投資有価証券	184,997	201,003
繰延税金資産	69,101	68,145
その他	347,926	352,093
貸倒引当金	△16,061	△0
投資その他の資産合計	585,964	621,242
固定資産合計	3,592,951	3,948,946
資産合計	10,601,107	11,378,777

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,355,632	2,603,113
短期借入金	1,454,157	1,792,343
1年内返済予定の長期借入金	708,512	576,312
リース債務	15,822	10,532
未払法人税等	124,355	75,613
賞与引当金	128,221	115,003
その他	364,292	417,037
流動負債合計	5,150,993	5,589,955
固定負債		
長期借入金	1,052,387	788,687
リース債務	3,885	3,355
退職給付引当金	170,852	159,993
役員退職慰労引当金	6,008	6,708
負ののれん	15,828	—
繰延税金負債	16,143	28,907
その他	258,232	242,727
固定負債合計	1,523,339	1,230,379
負債合計	6,674,332	6,820,334
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,102,433	1,102,433
資本剰余金	1,153,716	1,153,716
利益剰余金	1,849,848	2,061,202
自己株式	△31,457	△31,544
株主資本合計	4,074,541	4,285,807
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	30,494	47,527
繰延ヘッジ損益	△564	△12,580
為替換算調整勘定	△287,860	112,061
その他の包括利益累計額合計	△257,931	147,008
少数株主持分	110,165	125,626
純資産合計	3,926,774	4,558,442
負債純資産合計	10,601,107	11,378,777

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	7,868,846	7,885,194
売上原価	6,377,661	6,353,136
売上総利益	1,491,184	1,532,057
販売費及び一般管理費	1,129,262	1,205,751
営業利益	361,922	326,306
営業外収益		
受取利息	1,066	1,568
受取配当金	1,980	1,865
為替差益	—	21,813
持分法による投資利益	388	—
負ののれん償却額	31,657	15,828
助成金収入	25,020	16,069
保険返戻金	26,295	—
雑収入	12,365	6,121
営業外収益合計	98,774	63,266
営業外費用		
支払利息	23,434	16,300
為替差損	12,975	—
売上債権売却損	7,053	5,804
雑損失	951	3,811
営業外費用合計	44,414	25,916
経常利益	416,282	363,656
特別利益		
固定資産売却益	540	386
投資有価証券売却益	1,613	21,609
その他	139	—
特別利益合計	2,294	21,996
特別損失		
固定資産売却損	329	582
固定資産除却損	2,526	3,116
特別損失合計	2,856	3,699
税金等調整前四半期純利益	415,720	381,953
法人税、住民税及び事業税	104,254	95,155
法人税等合計	104,254	95,155
少数株主損益調整前四半期純利益	311,466	286,798
少数株主利益	27,233	2,547
四半期純利益	284,232	284,251

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	311,466	286,798
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△23,010	17,033
繰延ヘッジ損益	△2,014	△12,660
為替換算調整勘定	11,146	405,200
持分法適用会社に対する持分相当額	209	—
その他の包括利益合計	△13,669	409,573
四半期包括利益	297,796	696,371
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	272,140	689,191
少数株主に係る四半期包括利益	25,656	7,180

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	415,720	381,953
減価償却費	221,445	228,237
負ののれん償却額	△31,657	△15,828
引当金の増減額(△は減少)	11,606	△48,327
受取利息及び受取配当金	△3,047	△3,434
持分法による投資損益(△は益)	△388	—
支払利息	23,434	16,300
有形固定資産除売却損益(△は益)	2,316	3,312
有価証券及び投資有価証券売却損益(△は益)	△1,613	△21,609
売上債権の増減額(△は増加)	△16,232	△358,143
たな卸資産の増減額(△は増加)	151,766	88,160
仕入債務の増減額(△は減少)	16,313	86,232
その他	172,128	△20,245
小計	961,791	336,607
利息及び配当金の受取額	3,047	3,434
利息の支払額	△23,928	△15,452
法人税等の支払額	△39,246	△124,688
営業活動によるキャッシュ・フロー	901,663	199,901
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,815	△1,812
有形固定資産の取得による支出	△160,945	△326,912
有形固定資産の売却による収入	1,107	411
投資有価証券の取得による支出	△6,768	△4,982
投資有価証券の売却による収入	3,187	12,205
関係会社株式の売却による収入	—	20,160
その他	△6,332	△4,076
投資活動によるキャッシュ・フロー	△171,566	△305,007
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△724,918	260,131
長期借入金の返済による支出	△362,000	△407,000
自己株式の取得による支出	△170	△87
配当金の支払額	△64,611	△64,143
少数株主への配当金の支払額	△5,763	—
リース債務の返済による支出	△10,428	△11,902
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,167,892	△223,001
現金及び現金同等物に係る換算差額	7,352	174,051
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△430,443	△154,055
現金及び現金同等物の期首残高	3,111,819	2,590,186
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,681,376	2,436,130

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

共通支配下の取引等

1. 取引の概要

(1) 結合当事会社の名称及びその事業の内容

結合当事会社の名称:株式会社京写プロセス・ラボ・ミクロン(当社の連結子会社)

事業の内容:実装治具関連製品の開発、製造

(2) 企業結合日(事業譲受け日)

平成25年8月1日

(3) 企業結合の法的形式

株式会社京写プロセス・ラボ・ミクロンを事業譲渡会社、当社を事業譲受会社とした事業譲受け

(4) 結合後企業の名称

結合後企業の名称に変更はありません。

(5) その他取引の概要に関する事項

株式会社京写プロセス・ラボ・ミクロンは、当社グループの子会社として実装治具関連製品を開発及び製造し、当社が当該製品を販売しておりましたが、グループ経営効率の改善を図るため、同社の事業を当社内へ一本化することとしました。

2. 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成20年12月26日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日)に基づき、共通支配下の取引として処理しております。